

結果の概況

《 I 上場企業 》

1 景気・需要見通し

(1) 我が国の経済成長率見通し

- 上場企業の「次年度（令和2年度）」の我が国の実質経済成長率の見通し（実数値平均）は0.8%（前年度調査1.1%）。「次年度（令和2年度）」の我が国の名目経済成長率の見通し（実数値平均）は1.1%（同1.6%）。
- 「今後3年間（令和2～4年度平均）」、「今後5年間（令和2～6年度平均）」の我が国の実質経済成長率の見通しは、いずれも0.8%（前年度調査では、「今後3年間」は1.1%、「今後5年間」は1.0%）。

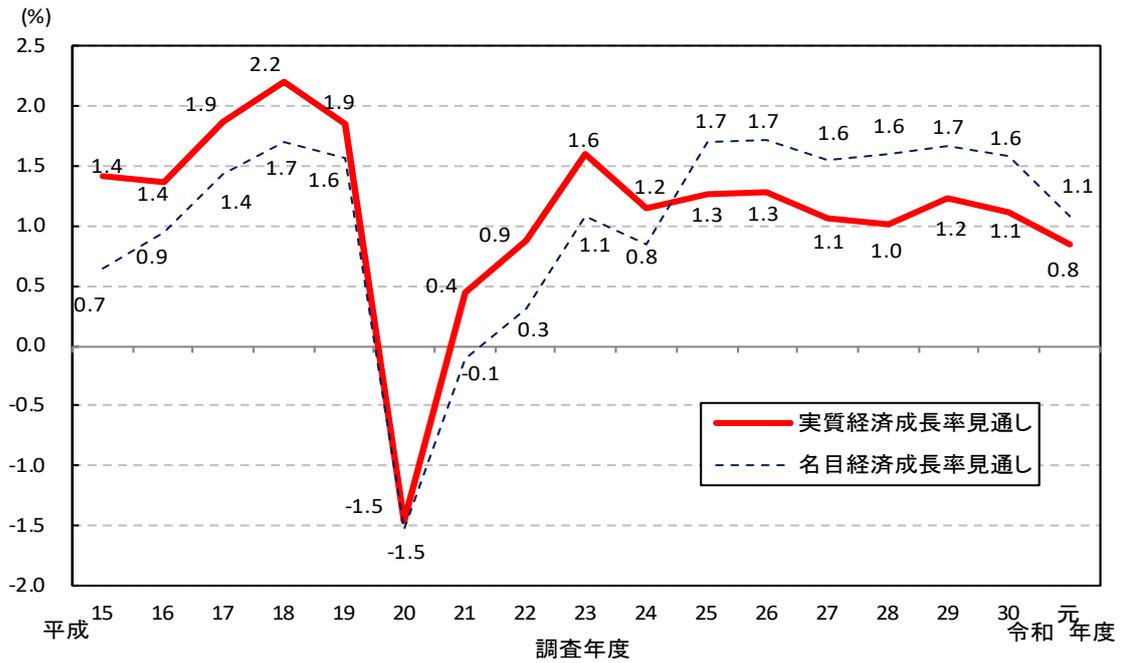
調査対象企業（東京、名古屋の証券取引所第一部及び第二部上場企業。以下「上場企業」という。）による「次年度（令和2年度）」の我が国の実質経済成長率の見通し（実数値平均¹⁾）は0.8%である（前年度調査（平成30年度調査）1.1%）。「次年度（令和2年度）」の我が国の名目経済成長率の見通し（実数値平均）は1.1%である（同1.6%）（第1-1-1図・第1-1-1表）。

「今後3年間（令和2～4年度平均）」の我が国の実質経済成長率の見通し、「今後5年間（令和2～6年度平均）」の我が国の実質経済成長率の見通しは、いずれも0.8%である（第1-1-2図・第1-1-1表）。前年度調査では、「今後3年間」の我が国の実質経済成長率の見通しは1.1%、「今後5年間」の我が国の実質経済成長率の見通しは1.0%であった。

「今後3年間（令和2～4年度平均）」の我が国の名目経済成長率の見通しは1.0%である（前年度調査1.5%）。「今後5年間（令和2～6年度平均）」の我が国の名目経済成長率の見通しは1.0%である（同1.4%）。

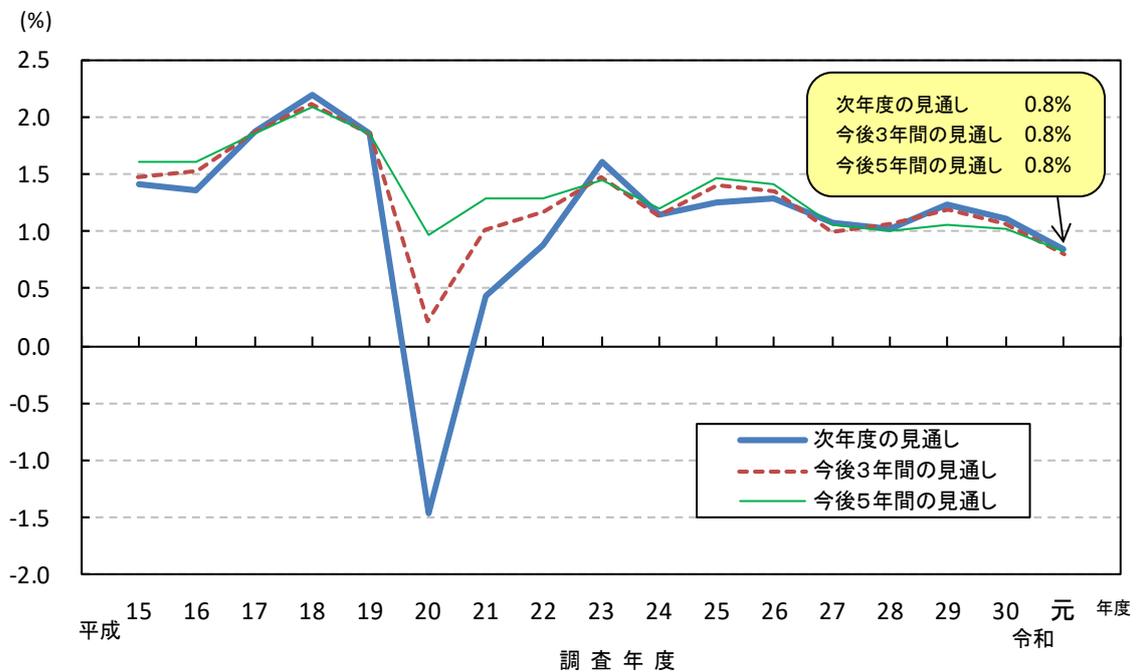
1) 「実数値平均」は単純平均である。実数値平均の場合、すべての回答企業の回答を単純平均したものとなる。また、本「結果の概況」における平均値は、「統計資料」に記載の値を小数第2位で四捨五入したものを用いている。なお、次ページ以降の図表では「統計資料」に記載の値（小数第2位表章）を用いている。以下同じ。

[第 1-1-1 図] 次年度の我が国の名目・実質経済成長率見通しの推移



注) 各年度の「見通し」は、例えば、令和元年度調査においては、令和2年度の見通しを表す。

[第 1-1-2 図] 我が国の実質経済成長率見通しの推移



注) 各年度の「見通し」は、例えば、令和元年度調査における「次年度の見通し」は令和2年度の見通し、「今後3年間の見通し」は令和2～4年度の見通し（年度平均）、「今後5年間の見通し」は令和2～6年度の見通し（年度平均）を表す。

[第1-1-1表] 我が国の経済成長率見通しの推移

(単位：%)

調査年度	名目経済成長率			実質経済成長率		
	次年度の見通し	今後3年間の見通し	今後5年間の見通し	次年度の見通し	今後3年間の見通し	今後5年間の見通し
平成 元 (1989) 年度	-	-	-	4.3	3.8	3.6
2 (1990)	-	-	-	3.6	3.5	3.6
3 (1991)	-	-	-	3.1	3.4	3.5
4 (1992)	-	-	-	2.4	2.9	3.1
5 (1993)	-	-	-	0.8	1.7	2.1
6 (1994)	-	-	-	1.8	2.2	2.3
7 (1995)	-	-	-	1.7	2.0	2.2
8 (1996)	-	-	-	1.5	1.8	1.9
9 (1997)	-	-	-	0.9	1.4	1.7
10 (1998)	-	-	-	-0.2	0.8	1.2
11 (1999)	-	-	-	0.9	1.3	1.5
12 (2000)	-	-	-	1.3	1.5	1.7
13 (2001)	-	-	-	-0.4	0.6	1.2
14 (2002)	-	-	-	0.3	0.7	1.0
15 (2003)	0.7	0.9	1.2	1.4	1.5	1.6
16 (2004)	0.9	1.2	1.4	1.4	1.5	1.6
17 (2005)	1.4	1.6	1.6	1.9	1.9	1.9
18 (2006)	1.7	1.7	1.7	2.2	2.1	2.1
19 (2007)	1.6	1.6	1.6	1.9	1.8	1.9
20 (2008)	-1.5	0.0	0.8	-1.5	0.2	1.0
21 (2009)	-0.1	0.6	1.0	0.4	1.0	1.3
22 (2010)	0.3	0.7	1.0	0.9	1.2	1.3
23 (2011)	1.1	1.1	1.1	1.6	1.5	1.5
24 (2012)	0.8	1.0	1.1	1.2	1.1	1.2
25 (2013)	1.7	1.7	1.8	1.3	1.4	1.5
26 (2014)	1.7	1.8	1.9	1.3	1.4	1.4
27 (2015)	1.6	1.5	1.6	1.1	1.0	1.1
28 (2016)	1.6	1.7	1.6	1.0	1.1	1.0
29 (2017)	1.7	1.7	1.5	1.2	1.2	1.1
30 (2018)	1.6	1.5	1.4	1.1	1.1	1.0
令和 元 (2019) 年度	1.1	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8

注1) 各年度の「見通し」は、例えば、令和元年度調査における「次年度の見通し」は令和2年度の見通し、「今後3年間の見通し」は令和2～4年度の見通し（年度平均）、「今後5年間の見通し」は令和2～6年度の見通し（年度平均）を表す。

注2) 名目経済成長率は、平成15年度から調査を開始した。

注3) 昭和63年度調査以前の結果については、巻末の時系列表を参照のこと。

(2) 業界需要の成長率見通し

- 上場企業の「次年度（令和2年度）」の業界需要の実質成長率見通し（全産業・実数値平均）は1.0%（前年度調査1.2%）。製造業は1.0%（同1.2%）、非製造業は1.1%（同1.2%）。
- 成長率見通しが高い業種は、製造業では、「電気機器」、「精密機器」、「非鉄金属」など、非製造業では、「その他金融業」、「情報・通信業」、「サービス業」などである。
- 「今後3年間（令和2～4年度平均）」の業界需要の実質成長率見通しと「今後5年間（令和2～6年度平均）」の業界需要の実質成長率見通しは、いずれも1.1%（前年度調査では、「今後3年間」は1.2%、「今後5年間」は1.1%）。

上場企業による「次年度（令和2年度）」の業界需要の実質成長率見通し（全産業・実数値平均）は1.0%である（前年度調査1.2%）（第1-1-3図・第1-1-2表）。「次年度（令和2年度）」の業界需要の名目成長率見通し（全産業・実数値平均）は1.2%である（前年度調査1.5%）（第1-1-2表）。

「次年度（令和2年度）」の業界需要の実質成長率見通しについて、産業別にみると、製造業は1.0%、非製造業は1.1%である。前年度調査では、製造業、非製造業ともに1.2%であった（第1-1-3図）。

「次年度（令和2年度）」の業界需要の実質成長率見通しについて、成長率見通しが高い業種（回答が5社以上あった25業種における比較）は、製造業においては、「電気機器」（1.8%）、「精密機器」（1.8%）、「非鉄金属」（1.3%）、非製造業においては、「その他金融業」（2.3%）、「情報・通信業」（2.2%）、「サービス業」（1.6%）である（第1-1-4図）。

「今後3年間（令和2～4年度平均）」の業界需要の実質成長率見通しは1.1%（前年度調査1.2%）である。「今後5年間（令和2～6年度平均）」の業界需要の実質成長率見通しは1.1%（同1.1%）である（第1-1-5図・第1-1-2表）。

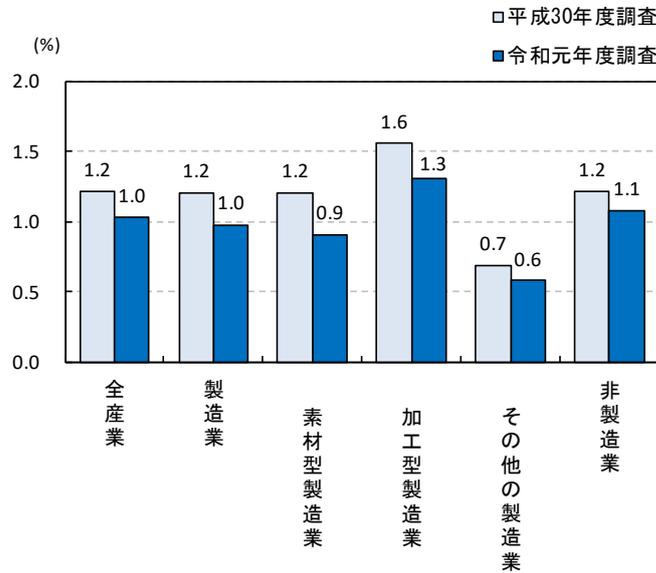
産業別にみると、製造業については、「今後3年間」、「今後5年間」いずれも1.1%、非製造業については、「今後3年間」は1.1%、「今後5年間」は1.0%である（第1-1-5図）。

製造業の区分別にみると、「素材型製造業」では、「次年度」、「今後3年間」、「今後5年間」のいずれも0.9%、「加工型製造業」では、「次年度」、「今後3年間」、「今後5年間」がそれぞれ1.3%、1.5%、1.6%、「その他の製造業」では、「次年度」、「今後3年間」、「今後5年間」がそれぞれ0.6%、0.6%、0.5%となり、「加工型製造業」で相対的に高い伸びを見込んでいる（第1-1-5図）。

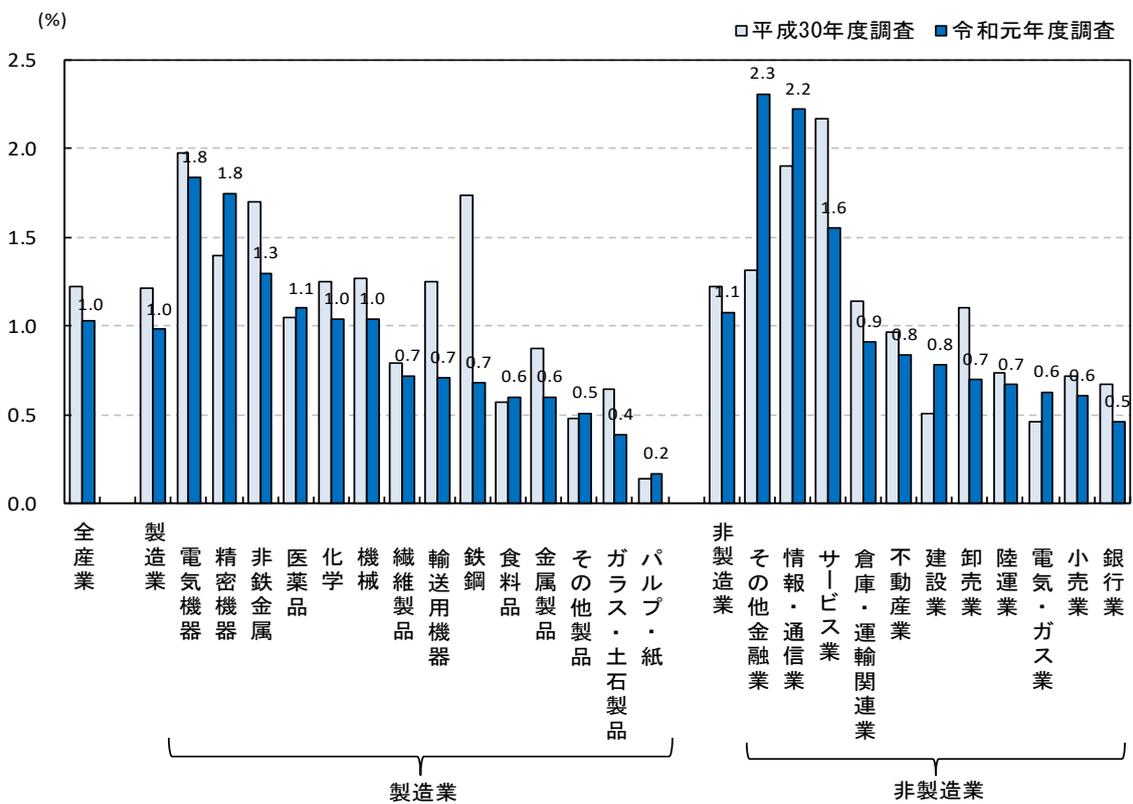
名目成長率見通し（全産業・実数値平均）は、「次年度」、「今後3年間」、「今後5年間」のいずれも1.2%である。前年度調査では、「次年度」が1.5%、「今後3年間」が1.5%、「今後5年間」が1.4%であった（第1-1-2表）。

また、上場企業による我が国の実質経済成長率見通しと業界需要の実質成長率見通しとを比較すると、「次年度」、「今後3年間」、「今後5年間」のいずれにおいても、業界需要の実質成長率見通しのほうが高い（第1-1-1表・第1-1-2表）。

[第1-1-3図] 産業別 次年度の業界需要の実質成長率見通し（前年度調査との比較）

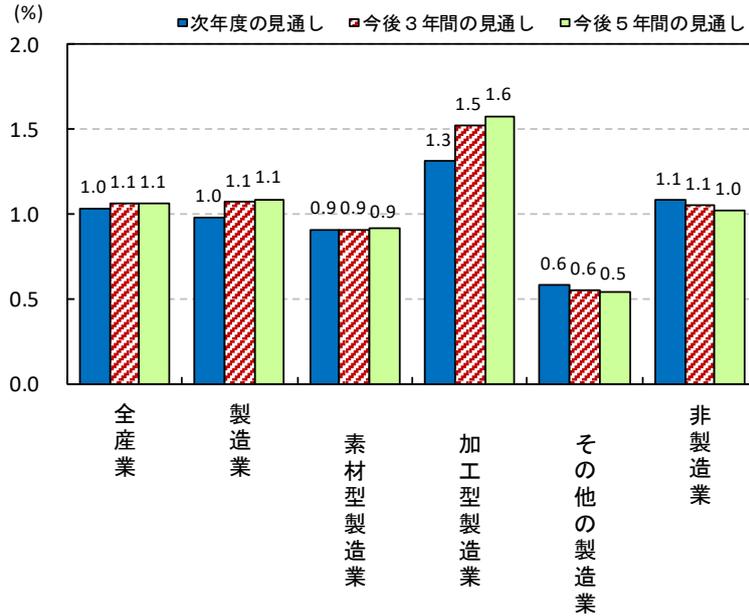


[第1-1-4図] 業種別 次年度の業界需要の実質成長率見通し（前年度調査との比較）



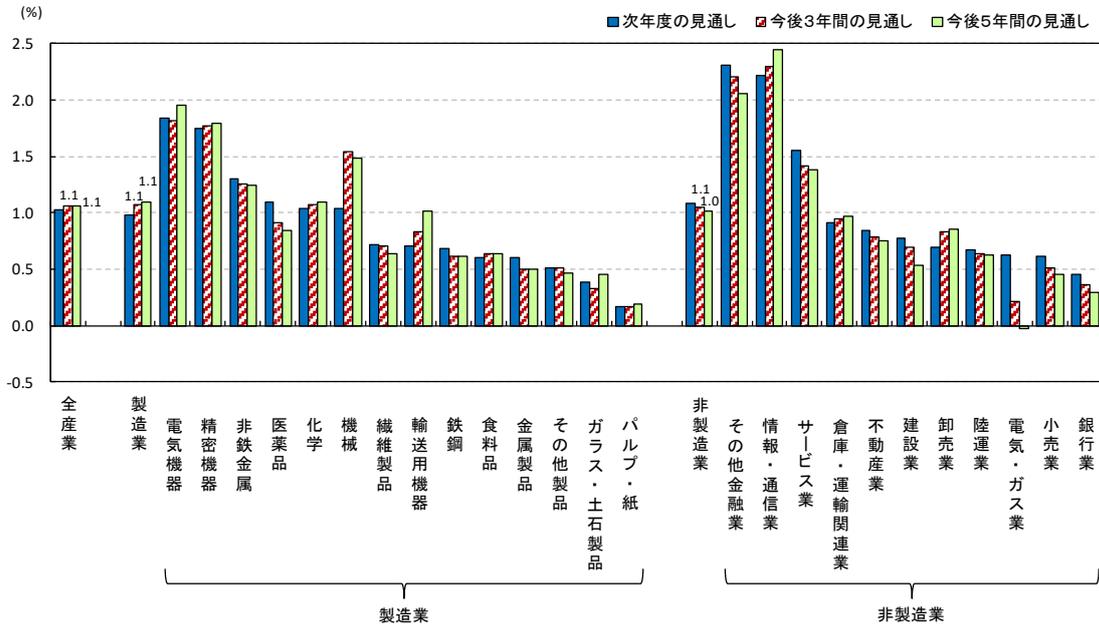
注) 業種については、平成30年度調査、令和元年度調査いずれも回答企業が5社以上の業種とした。

[第1-1-5図] 産業別 業界需要の実質成長率見通し



注) 「次年度の見通し」は令和2年度の見通し、「今後3年間の見通し」は令和2～4年度の見通し(年度平均)、「今後5年間の見通し」は令和2～6年度の見通し(年度平均)を表す。

[第1-1-6図] 業種別 業界需要の実質成長率見通し



注1) 「次年度の見通し」は令和2年度の見通し、「今後3年間の見通し」は令和2～4年度の見通し(年度平均)、「今後5年間の見通し」は令和2～6年度の見通し(年度平均)を表す。

注2) 業種については、「次年度の見通し」「今後3年間の見通し」「今後5年間の見通し」いずれも回答企業が5社以上の業種とした。

[第 1-1-2 表] 業界需要の成長率見通しの推移（全産業）

（単位：％）

調査年度	名目成長率			実質成長率		
	次年度の見通し	今後3年間の見通し	今後5年間の見通し	次年度の見通し	今後3年間の見通し	今後5年間の見通し
平成 元 (1989) 年度	-	-	-	4.5	4.2	4.0
2 (1990)	-	-	-	4.2	4.2	4.2
3 (1991)	-	-	-	2.7	3.6	3.8
4 (1992)	-	-	-	2.0	3.0	3.2
5 (1993)	-	-	-	0.4	1.7	2.2
6 (1994)	-	-	-	1.7	2.2	2.3
7 (1995)	-	-	-	1.8	2.0	2.2
8 (1996)	-	-	-	1.4	1.8	2.0
9 (1997)	-	-	-	0.5	1.3	1.7
10 (1998)	-	-	-	-0.2	0.9	1.4
11 (1999)	-	-	-	0.7	1.2	1.4
12 (2000)	-	-	-	1.0	1.3	1.5
13 (2001)	-	-	-	-1.1	0.3	1.0
14 (2002)	-	-	-	-0.0	0.5	0.8
15 (2003)	0.7	0.7	0.9	1.0	1.1	1.2
16 (2004)	0.9	1.1	1.1	1.1	1.3	1.3
17 (2005)	1.2	1.2	1.1	1.5	1.5	1.4
18 (2006)	1.6	1.5	1.4	1.8	1.7	1.7
19 (2007)	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5
20 (2008)	-2.9	-0.5	0.4	-2.7	-0.2	0.6
21 (2009)	-0.9	0.3	0.6	-0.5	0.5	0.8
22 (2010)	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9
23 (2011)	1.0	1.1	1.0	1.4	1.4	1.3
24 (2012)	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0
25 (2013)	1.3	1.4	1.4	1.0	1.2	1.3
26 (2014)	1.5	1.6	1.6	1.2	1.3	1.3
27 (2015)	1.3	1.3	1.3	1.0	0.9	1.0
28 (2016)	1.3	1.4	1.3	0.9	1.0	0.9
29 (2017)	1.6	1.6	1.4	1.3	1.3	1.1
30 (2018)	1.5	1.5	1.4	1.2	1.2	1.1
令和 元 (2019) 年度	1.2	1.2	1.2	1.0	1.1	1.1

注1) 各年度の「見通し」は、例えば、令和元年度調査における「次年度の見通し」は令和2年度の見通し、「今後3年間の見通し」は令和2～4年度の見通し（年度平均）、「今後5年間の見通し」は令和2～6年度の見通し（年度平均）を表す。

注2) 名目成長率は、平成15年度から調査を開始した。

注3) 昭和63年度調査以前の結果については、巻末の時系列表を参照のこと。